

2023年度 環境活動レポート (2023年4月～2024年3月)

管理番号 録70-40-24017B	
作成日 2024年12月5日	
承認	作成
	

朝日電気株式会社

住所：神奈川県川崎市中原区荻宿29番25号
電話：044-422-0121

1. 組織の概要

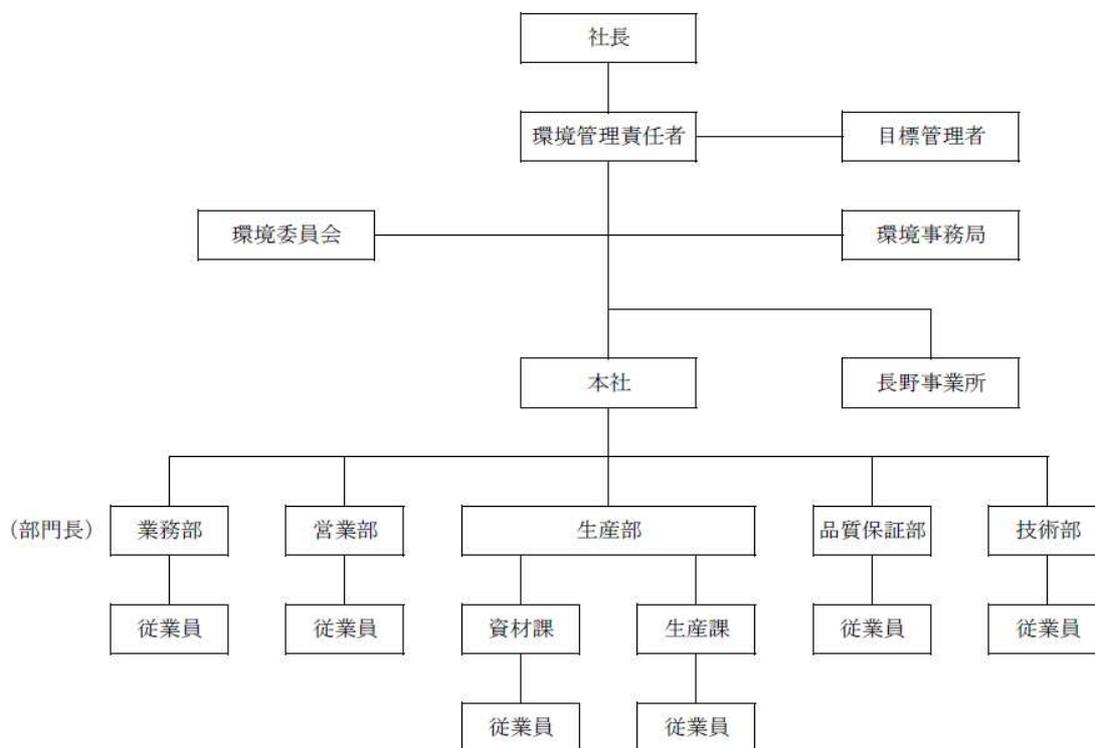
1) 本社の概要

項目	概要
事業社名及び代表者名	朝日電気株式会社本社・工場 代表取締役社長 清水洋二
所在地	神奈川県川崎市中原区荻宿29番25号
環境保全関係の管理責任者	管理責任者 北郷 達也
	連絡先 電話:044-422-0121 FAX:044-433-8223
事業内容	通信機器・電子機器・測定器の設計・製造・販売 物流システムの設計・製造・販売
事業所の規模(2023年度)	総生産量 : 21.9t
	従業員数 : 41名
	延べ面積 : 952平方m

2) 長野事業所の概要

項目	概要
事業社名	朝日電気株式会社 長野事業所
所在地	長野県長野市神明85番地
環境保全関係の管理責任者	管理責任者 越川秀美
	連絡先 電話:026-283-4911 FAX:026-283-4912
事業内容	通信機器・電子機器・測定器の設計・製造・販売
事業所の規模(2023年度)	総生産量 : 2.1t
	従業員数 : 6名
	延べ面積 : 200平方m

3) 環境組織



4) 責任と権限

(1) 社長

- ①全ての業務を統括管理し、環境管理責任者を任命する。
- ②環境経営システムの最高責任者として、環境方針の策定、必要な経営資源の準備及び配分、環境経営システムの有効性の見直しなどを実施する。

(2) 環境管理責任者

- ①EA21規格に基づいて当社の環境経営システムを構築し、運用する。
- ②「代表者による全体の評価と見直し」のための情報を社長に報告する。
- ③環境経営システムの実績を部門長により構成する部課長に報告する。
- ④単年度環境目標を策定し、環境活動計画・実績表を作成し、目標管理者に指示する。
- ⑤環境経営マニュアルに定める環境管理責任者の役割、責任及び権限を行使する。

(3) 環境事務局

- ①環境管理責任者を補佐して、円滑な環境経営システムの構築と運用を図る。
- ②環境委員会を効率良く、効果的に運用する。

(4) 目標管理者

- ①単年度環境目標に基づく、環境活動計画・実績表の各項目毎に、関係部門を横断し、推進の取り組みを行い、結果を記録する。

(5) 環境委員会

- ①環境管理責任者を委員長とし、各部門委員により構成する。
- ②委員長は、環境委員会を2ヶ月毎に開催するほか、必要に応じて臨時に開催する。
- ③環境経営システムの構築・運用状況についての報告及び審議並びに環境情報についてのコミュニケーションを行う。
- ④環境法規制の変更、環境経営システムを取巻く周囲状況の変化、利害関係者の関心、懸念などの情報交換を行い、環境管理上の問題点を明確にして、その解決策について協議をする。
- ⑤毎年1回(原則として4月)は、マネジメントレビューを実施して、社長による環境経営システムの見直しを行う。
- ⑥環境委員会の事務取りまとめは、環境事務局が担当し、環境委員会の結果を記録した「環境委員会議事録」を作成する。

(6) 部門長

- ①環境管理責任者の要請に協力する。自部門の環境委員を選任する。
- ②目標管理者および環境委員と協力し、目標を達成するため、行動を推進する。

2. 対象範囲(認証・登録範囲)

1) 認証・登録範囲

本社、長野事業所の全組織・全活動

3. 適用規格

1) エコアクション21ガイドライン 2017年版

4. 環境経営方針

朝日電気株式会社は、環境負荷の低減および資源の有効利用を行い、環境に調和した豊かな社会の実現を目指す

電子機器製造事業者として、「安全と信頼」の優れたテクノロジーを通じて、より安心・快適な社会の実現に貢献するとともに、環境保全活動を積極的に継続し展開する

1) 全社を挙げた活動

環境目標を設定し、従業員一人一人が協力し積極的・継続的に改善活動を行う。

2) 重点分野

- (1) 省資源、省エネルギー推進により、CO2削減に取り組む。
- (2) 節水に努め、水使用量を削減する。
- (3) 上流から下流まで環境に配慮した製品の設計・生産に取り組む。
- (4) 資源有効利用のため、“5S+3S(Speed, Slim, Smart)+3M(無理、無駄、ムラの撲滅)活動“を推進する。
- (5) リデュース(廃棄物削減)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)の3Rに取り組み、廃棄物排出量削減に取り組む。
- (6) グリーン調達を促進し、製品や生産工程で使用する有害物質を削減または禁止し、鉛(共晶ハンダ)を適正管理する。

3) 法令等の遵守

環境に関する法令、条例、協定その他要求事項を遵守する。

4) 環境教育の促進

全従業員の環境意識を高め、目標を達成するよう環境教育を行う。

5) 社会への貢献

地域における環境保全活動に積極的に協力する。活動はホームページ等で公開する。

当社の長期計画として、CO2排出量を2025年度までに2020年度比-5%を目指します。

制定日 2011年6月 8日

改訂日 2023年4月 1日

朝日電気株式会社

代表取締役社長

清水 洋二

5. 環境経営目標と実績

2021年度から2023年度までの環境経営目標と2023年度の実績及び達成度は、以下の通りです。

1) 本社

項目	内容	基準値 (2020年度)	目標			2023年度 目標値	2023年度実績		達成度
			2021年度	2022年度	2023年度				
二酸化炭素 排出量の削減	電力消費量の削減	124,632kwh	△1%	△2%	△3%	120,893kwh	△23%	95,667kwh	○
	ガソリン消費量の削減	4,115l	△1%	△2%	△3%	3,992l	△18%	3,337l	○
	石油ガス(LPG)の削減	251kg	△1%	△2%	△3%	243kg	▲11%	278kg	×
	二酸化炭素排出量の削減	72,124kg-CO2	△1%	△2%	△3%	69,960kg-CO2	△22% △88% (注4)	56,033kg-CO2 8,582kg-CO2 (注4)	○
排水量の削減	水使用量の削減	281 m ³	△1%	△2%	△3%	273 m ³	△22%	218 m ³	○
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	1.17t	△1%	△2%	△3%	1.13t	△60%	0.47t	○
	産業廃棄物の削減	6.1 m ³	△1%	△2%	△3%	5.9 m ³	▲8%	6.6 m ³	×
設計生産 環境 配慮	新規設計品RoHS対応設計	-	100%	100%	100%	100%	該当無し		-
	新規設計製品の長寿命、軽量化、省エネ等考慮した設計	-	100%	100%	100%	100%	該当無し		-
	鉛の適正管理	-	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理		○
グリーン調達	エコマーク事務用品の購入	-	100%	100%	85%	85%	87%		○

注1 化学物質使用量は、使用量が微量のため、適切に管理は行っているが目標は未設定

注2 表中の達成度は下記のとおりとする。

○：目標達成項目

△：基準年度より数値が改善している、目標未達成項目

×：基準年度より数値が悪化している、目標未達成項目

注3 二酸化炭素排出量は、下記の二酸化炭素排出係数にて算出

本社：0.496(kg-CO2/kWh)

注4 2023年1月に東急パワーサプライと『CO2フリー特約』を契約しており、グリーンエネルギー反映時の数値

2) 長野事業所

項目	内容	基準値 (2020年度)	目標			2023年度 目標値	2023年度実績		達成度
			2021年度	2022年度	2023年度				
二酸化炭素 排出量の削減	電力消費量の削減	19,830kwh	△1%	△2%	△3%	19,236kwh	△36%	12,686kwh	○
	二酸化炭素排出量の削減	9,819kg-CO2	△1%	△2%	△3%	9,514kg-CO2	△36%	6,270kg-CO2	○
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	132kg	△1%	△2%	△3%	128kg(注8)	△9%	120kg	○
設計生産 環境 配慮	鉛の適正管理	-	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理		○
グリーン調達	エコマーク事務用品の購入	-	100%	100%	85%	85%	100%		○

注1 ガソリン消費量は社有車が無いため対象外

注2 石油ガス(LPG)は生産業務にて未使用のため、適切に管理は行っているが目標は未設定

注3 水使用量は生産業務にて未使用のため、適切に管理は行っているが目標は未設定

注4 産業廃棄物排出量は、排出量が微量のため、適切に管理は行っているが目標は未設定

注5 化学物質使用量は、使用量が微量のため、適切に管理は行っているが目標は未設定

注6 表中の達成度は下記のとおりとする。

○：目標達成項目

△：基準年度より数値が改善している、目標未達成項目

×：基準年度より数値が悪化している、目標未達成項目

注7 二酸化炭素排出量は、下記の二酸化炭素排出係数にて算出

長野事業所：0.452(kg-CO2/kWh)

注8 2023年7月に是正処置を行い、57kg→128kgに目標値を変更

6. 環境活動計画内容

1) 二酸化炭素の削減

- (1) 空調の適温化の徹底(暖房21℃冷房27℃)
- (2) 使用していないエリアの空調停止、消灯徹底
- (3) 定期的なエアコンフィルターの清掃
- (4) エアコン、恒温槽の定期点検(簡易点検:1回/3ヶ月)
- (5) 自然環境(採光・換気等)の利用
- (6) 夏場の暑さ対策及び冬場の寒さ対策
- (7) 未使用機器の電源OFFの徹底
- (8) 急発進・急加速を行わない
- (9) 100km/h以下の走行に努める
- (10) エコランプの点灯運転(フィールダー・ハイエースのみ)
- (11) 客先訪問の効率化(納品以外はバス・電車を使う)
- (12) 使用電力量を環境保全活動月次チェックシートに月1回点検記録し従業員に公開

2) 排水量の削減

- (1) 社員へ啓蒙活動
- (2) 浸水試験槽を毎月計測
- (3) 水使用量を環境保全活動月次チェックシートに2ヶ月に1回点検記録し従業員に公開

3) 廃棄物の削減

- (1) コピー用紙リサイクル化
- (2) 金属類の分別管理
- (3) 廃プラスチックの分別管理
- (4) 不良ゼロへの活動に取り組む
- (5) インクカートリッジのリサイクル化
- (6) 一般廃棄物の排出量を環境保全活動月次チェックシートに月1回点検記録し従業員に公開

4) 設計・生産の環境配慮

- (1) 新規設計製品のRoHS対応設計
- (2) 新規設計製品の長寿命、軽量化、省エネ等考慮した設計
- (3) 鉛を適正管理する
- (4) 進捗を環境保全活動月次チェックシートに月1回点検記録し従業員に公開

5) グリーン調達

- (1) エコマーク商品の購入
- (2) 購入実績を環境保全活動月次チェックシートに月1回点検記録し従業員に公開

7. 環境保全活動の取組み結果とその評価、次年度の環境目標と取組内容

1) 環境目標・環境活動計画の達成状況

(1) 二酸化炭素の削減

①電力消費量削減

空調の適温化の徹底(暖房21℃冷房27℃)、使用していないエリアの空調停止、消灯徹底、定期的なエアコンフィルターの清掃、自然環境(採光・換気等)の利用、夏場の暑さ対策及び冬場の寒さ対策、未使用機器の電源OFFの徹底、等実施により目標達成出来た。

②ガソリン消費量削減

急発進・急加速を行わない、100km/h以下の走行に努める、エコランプの点灯運転、客先訪問の効率化(納品以外はバス・電車を使う)等実施したことにより、目標達成することが出来た。

③石油ガス(LPG)消費量削減

保温状態を止め、規格まで上がったら電源を切断等実施したが、石油ガスを使用する製品の生産量増加に伴い、目標達成することが出来なかった。

(2) 排水量の削減

節水の啓蒙活動等実施したことにより目標達成することが出来た。

(3) 廃棄物の削減

①一般廃棄物削減

コピー用紙リサイクル化、梱包材の分別を徹底し、再利用等実施したことにより目標達成出来た。

②産業廃棄物削減

金属類の分別管理、廃プラスチックの分別管理、インクカートリッジリサイクル化、不良ゼロへの活動に取り組む等実施したことにより目標達成することが出来た。

(4) 設計・生産の環境配慮

①RoHS対応設計製品

新規設計製品について1製品中1製品対応し、100%対応。

②長寿命、軽量化、省エネ等考慮した設計製品

新規設計製品について2製品中2製品対応し、100%対応。

③鉛の適正管理

使用量、保管量を適切に管理。

(5) グリーン調達

エコマーク商品購入可能な事務用品について、41点中36点購入、88%達成。

(6) その他の活動

①避難訓練

万一の災害に備え、避難訓練を実施。

②太陽光パネル

屋上に太陽光パネルと屋外に看板を設置し、内外に環境活動の取り組みをアピール(写真1、2、3参照)。また、発電量がリアルタイムで確認できるモニターを設置し、節電に対する意識改善を図っている(写真4参照)。



写真1 太陽光パネル①



写真2 太陽光パネル②



写真3 「太陽光発電中」の看板設置



写真4 発電量リアルタイムモニター

③電気 グリーンエネルギー化対応

2023年1月に東急パワーサプライと『CO2フリー特約』を契約し、電気をグリーンエネルギー化した。

2) 環境取組の自己チェック

項目	2021年度		2022年度		2023年度	
	本社 (結果/総数)	長野 (結果/総数)	本社 (結果/総数)	長野 (結果/総数)	本社 (結果/総数)	長野 (結果/総数)
事業活動へのインプットに関する項目	113 / 198	188 / 204	120 / 204	188 / 204	127 / 208	188 / 204
事業活動からのアウトプットに関する項目	94 / 130	92 / 98	94 / 130	92 / 98	94 / 130	92 / 98
製品及びサービスに関する項目	76 / 108	50 / 54	76 / 108	50 / 54	76 / 108	50 / 54
その他	22 / 58	27 / 34	22 / 58	27 / 34	22 / 58	27 / 34
全体	305 / 494	357 / 390	312 / 500	357 / 390	319 / 504	357 / 390
	61.7%	91.5%	62.4%	91.5%	63.3%	91.5%

3) 次年度の環境目標

(1) 環境目標

① 本社

No.	項目	基準	2024年度目標	関連部門
1	二酸化炭素	(1)二酸化炭素排出量の削減 20年度実績(72,124kg-CO2)	二酸化炭素排出量を20年度比4%削減 (69,239kg-CO2)	全部門
		(2)電気エネルギーの削減 20年度実績(124,632kwh)	電力消費量を20年度比4%削減 (119,647kwh)	
		(3)ガソリン消費量の削減 20年度実績(4,115ℓ)	ガソリン消費量を20年度比4%削減 (3,950ℓ)	
		(4)石油ガス(LPG)の削減 20年度実績(251kg)	石油ガス(LPG)を20年度比4%削減 (241kg)	
2	排水量	(1)水使用量の削減 20年度実績(281㎡)	水使用量を20年度比4%削減 (270㎡)	全部門
3	廃棄物	(1)一般廃棄物の減量 20年度実績(1.17t)	一般廃棄物を20年度比4%減量 (1.12t)	全部門
		(2)産業廃棄物の減量 20年度実績(6.1㎡)	産業廃棄物を20年度比4%減量 (5.9㎡)	
4	設計・生産の環境配慮	(1)有害化学物質の全廃 20年度実績(100%)	新規設計製品の100%対応	全部門
		(2)長寿命、軽量化、省エネ等考慮した設計 20年度実績(100%)	新規設計製品の100%対応	全部門
		(3)鉛の適正管理	鉛を適正管理する	全部門
5	グリーン調達	(1)事務用品エコマーク商品購入比率 20年度実績 (100%)	エコマーク商品購入比率を80%にする	全部門

② 長野事業所

No.	項目	目的	2024年度目標	関連部門
1	二酸化炭素	(1)電気エネルギーの削減 20年度実績(19,830kwh)	電力消費量を 20年度比4%削減 (19,037kwh)	全部門
		(2)二酸化炭素排出量の削減 20年度実績(9,819kg-CO2)	二酸化炭素排出量を 20年度比4%削減 (9,426kg-CO2)	
2	廃棄物	(1)一般廃棄物の減量 20年度実績(57kg=19袋)	一般廃棄物を 20年度より4%削減 (54kg=18袋)	全部門
3	生産時の環境配慮	(1)鉛の適正管理	鉛を適正管理する	全部門
4	グリーン調達	(1)事務用品エコマーク商品 購入比率 20年度実績 (100%)	エコマーク商品購入比率を80%にする	全部門

4) 次年度の取組内容

(1) 重点項目

① 資源有効利用のため、“5S+3S(Speed、Slim、Smart)+3M(無理、無駄、ムラの撲滅)活動“を推進する。

(2) 二酸化炭素の削減

① 電力消費量削減

室温管理を徹底(暖房21℃冷房27℃)する。

使用していないエリアの空調停止、消灯を徹底する(定時以降、特に注意)。

エアコンフィルター清掃

夏場の暑さ対策及び冬場の寒さ対策を検討する。

自然環境(採光、換気等)を利用する。

エアコン、恒温槽の定期点検(簡易点検:1回/3ヶ月)。

② ガソリン消費量削減

計画的な配送を意識して行う。

(3) 排水量の削減

社員への啓蒙活動を繰り返し行う。

2ヶ月に1回、漏水チェックする。

(4) 廃棄物の削減

① 一般廃棄物削減

コピー用紙のリサイクル化を、より徹底させる。

② 産業廃棄物削減

分別を徹底する。

不良ゼロへの活動に取り組む。

インクカートリッジのリサイクル化

(5) 設計・生産の環境配慮

新規設計製品は、RoHS対応品にする。

長寿命、軽量化、省エネ等考慮した設計にする。

鉛を適正管理する。

(6) グリーン調達

事務用品は、エコマーク商品を購入する。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1) 環境関連法規等の遵守状況

法規・条例	区分	2021年度	2022年度	2023年度
フロン排出抑制法 (エアコン廃棄時の適正処理、エアコンの簡易点検)	本社	○	○	○
	長野	○	○	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (収集運搬業者との契約、マニフェスト発行・管理・報告、保管場所の掲示)	本社	○	○	○
	長野	○	○	○
リサイクル法 (自動車リサイクル法、家電リサイクル法、資源有効利用促進法)	本社	○	○	○
	長野	○	○	○
RoHS指令対応 (新規設計製品のRoHS対応設計)	本社	○	○	○
	長野	○	○	○
川崎市下水道条例 (条例の水質基準を満たす排水)	本社	○	○	○

2) 利害関係者による評価

取引業者には「環境配慮へのお願い」を通知しており、梱包材回収、廃プラ回収等の協力を継続している。
顧客からは環境経営への取組姿勢を評価されている。

3) 環境関連法規への違反の有無、外部コミュニケーション

(1) 適用となる環境関連法規

全て適合(前記の「1) 環境関連法規等の遵守状況」を参照)
環境関連法規の違反はなく、関係当局よりの違反等の指摘は、創業以来ありません。

(2) 外部コミュニケーション

近隣からの苦情もなく、地域との良好なコミュニケーションを保っている。
月1回、社員全員で社屋外(歩道)の清掃活動を行い、美化運動を心掛けている。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

本社及び長野事業所にてマネジメントレビューを行い、以下について報告及び確認を行った。

1) マネジメントレビューインプット

- (1) 内部監査及び外部審査の結果
- (2) 最近の環境経営システムの不適合事例及び是正処置
- (3) 地域住民などの利害関係者からの苦情及び是正処置
- (4) 法規制に対する適合性に関する事項
- (5) 「環境負荷への自己チェック」及び「環境への取組の自己チェック」の結果
- (6) 環境活動計画・実績表の実施状況
- (7) その他経営的見地

2) マネジメントレビューアウトプット

項目	社長からの指示事項
環境方針	特に問題なし
環境目標	特に問題なし
環境活動計画	特に問題なし
環境組織	特に問題なし
環境の取組状況及びその効果の評価 (環境活動全体に対する評価、インプットに対する総評)	EA21更新審査時に受けた指摘に対する対応内容について特に問題なし。 環境負荷及び環境取組自己チェックの内容についても理解しました。 環境方針、環境目標、環境活動計画、環境組織については、説明頂いた内容で進めて下さい。 内部監査が必須事項で無いのであれば、ルールを決め環境マニュアルを見直しのこと。